



2025年7月23日、千葉市民会館小ホールにて、千葉地本「第40回定期大会」が開催され、成田支部からも4人の代議員が発言し、地本の運動方針に肉付けをしました。

▼発言した内容

- 福知山線安全研修を創り出し、現地で20年前の大惨事を風化させない事を皆で確認した。今の東日本は福知山線脱線事故前夜のように感じる。経営陣こそ、現場を訪問し学ぶべきだ！安全が最優先。隠ぺいされず、正しく報告される文化を継続して創るべき。
- 新施策の、居住地で格差があって良いのか？来年度から実施なのに、もう7月が終わる。私たちを評価する管理者間で、希望や生活設計等が正しく共有される必要性がある。乗務兼務者を一方的に乗務させないとした理由は何なのか？それぞれの知識を業務に活用できることで、安全・安定輸送へつなげていく事が出来る。
- 加入が止まれば、組織が無くなる危機感を感じた。会社に怒りを感じている人はおり、チャンスは職場にあることを意識する。自分にとっての東労組は何なのか、組合員一人ひとりが明確に持つ事が重要。
- 高速バスで、迂回路の急な使用禁止は何故なのか？アクアラインは渋滞が多く迂回が頻発する路線。大幅遅延となればお客さまからの苦情も増え、安全・安定運行を阻害する要因となる。バス職場で代表選で勝ち取る事が出来たのは成果。だが、不信任票は重く受け止める必要がある。

**安全第一の職場風土を確立するため、
東労組に結集しよう！**



安全第一